

顧客本位の業務運営に関する方針

I. ケネディクスグループのパーパス・クレド

ケネディクスグループは、「世界の中から不動産の価値を見出し、動かし、人々に届けていく。」をパーパスとして掲げ、その実現に向け、全役職員の行動指針となる「クレド」を定めています。当社は、この「パーパス」、「クレド」の下、顧客本位の業務運営を実現するため、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」の各原則について採択し、ここに「顧客本位の業務運営に関する方針」を定めます。

ケネディクスグループの「パーパス」、「クレド」については[こちら](#)をご覧ください。

II. 顧客本位の業務運営に関する方針

(1) 顧客の最善の利益の追求【原則 2】

当社は、ケネディクスグループの「パーパス」、「クレド」に基づき、高度な職業倫理を保ち、顧客投資家への良質な投資機会の提供を常に意識して誠実・公正に行動し、透明性、専門性、先進性、機動性に富んだ企業文化の醸成に努めます。

(2) 利益相反の適切な管理【原則 3】

当社は、堅実かつ公正を基本とし、自らの利害関係者等と顧客投資家との取引状況を正確に把握し、顧客投資家の利益が不当に害されることのないよう、「利益相反取引管理規程」に基づき適切な管理を行い、提供業務の適切性および取引の公正性の確保に努めます。

(3) 手数料等を含む重要な情報の分かりやすい提供【原則 4、原則 5】

当社は、「透明性」の高い情報発信を実施し、顧客投資家が負担する手数料等の重要な情報について、デジタル技術等を活用しながらわかりやすく提供するよう努めます。

(4) 顧客にふさわしいサービスの提供【原則 6】

当社は、顧客投資家の取引目的やニーズ、資産状況、取引経験、知識等を考慮し、顧客投資家の利益に資するサービスを提供するよう努めます。

(5) 従業員に対する適切な動機づけの仕組み等【原則 7】

当社は、顧客投資家に良質なサービスを継続して提供し、顧客の利益と自らの企業価値を共に向上させることを目指し、そのための従業員の動機付けとして、業績のみならずコンプライアンスの観点も評価項目に加え、日々の業務や研修等を通じてケネディクスグループの「パーパス」、「クレド」を従業員に浸透させるよう取り組みます。